

2018年2月時点
日本貿易振興機構(ジェトロ)

2018年3月「ミャンマー農業ビジネス」 市場開拓セミナー・個別商談会

バイヤー情報

【免責事項】

本リストは、現地企業へのヒアリングをもとに作成しております。本リストで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本リストで提供した内容に関して、ご利用される方が不利益を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

2018年3月「ミャンマー農業ビジネス」セミナー・個別商談会
バイヤー情報

企業名	Aung Yadanar Phyo Commercial Co., Ltd		
カテゴリ	農業機械 輸入販売代理店		
企業ホームページ	https://www.facebook.com/ayplogo/		
所在地	ヤンゴン		
設立年	1995年		
年間売上	500万ドル		
従業員数	100名	営業人員数	20名
ビジネス概要	農業機械の輸入販売（コンバインハーベスター、トラクター、アタッチメント、スペアパーツ等）		
主要取扱製品	<ul style="list-style-type: none"> ●WORLD社（中国製）：コンバインハーベスター、トラクター ●Indo Farm社（インド製）：各種農機 ●Fieldking社（インド製）：アタッチメント 		
主要販路	<ul style="list-style-type: none"> ●自社拠点でのエンドユーザーなどへの直接販売（ヤンゴン、マンダレー、マグウェイに拠点あり） ●農業畜産灌漑省（生活協同組合局、農業機械化局）への販売 ●他卸売業者（subdealers）および小売店への販売 ●エンドユーザーは過去5年の累積で農家約2,000戸 		
商談を希望する商品	農業機械全般		
特徴・バイヤーから一言	<ul style="list-style-type: none"> ●販売だけではなく、テクニカルコールセンターを設け、機械購入者向けのアフターサービスも行っている。 ●現在、中国、インド製の製品を扱っているが、顧客の選択肢を増やすために取り扱いラインアップを増やしたいと考えている。 ●将来、機械のレンタルサービスも行う予定。 		

2018年3月「ミャンマー農業ビジネス」セミナー・個別商談会
バイヤー情報

企業名	MJT Group of Agricultural Machinery Co., Ltd		
カテゴリ	農業機械 輸入販売代理店		
企業ホームページ	https://www.facebook.com/MJTAgricultural		
所在地	バゴー管区バゴー市(Bago)		
設立年	2014年		
年間売上	18億ミャンマーチャット（約135万ドル） ※2018年2月時点レートで換算		
従業員数	10名	営業人員数	3名
ビジネス概要	農業機械輸入販売およびレンタル		
主要取扱製品	日本とタイから農業機械を輸入・販売している。日本ブランドの農業機械を扱っており、ヤンマー製品（タイ製）の他、ロータリーやプラウなどのトラクターのアタッチメントなども取り扱っている。		
主要販路	<ul style="list-style-type: none"> ●ミャンマー全土（主にヤンゴン管区、バゴー管区、エヤワディ管区、マグウェイ管区、マンダレー管区、ザガイン管区、ラカイン州、モン州）でビジネスを展開している。 ●約600軒の農家を顧客とし製品を販売している。 		
商談を希望する商品	<ul style="list-style-type: none"> ●トラクターおよびアタッチメント ●バインダー ●ハーベスター（収穫機） 		
特徴・バイヤーから一言	日本製品を専門に取り扱っており、日本語でのコミュニケーション可。		

2018年3月「ミャンマー農業ビジネス」セミナー・個別商談会
バイヤー情報

企業名	Marlar Myaing Company., Ltd		
カテゴリ	種苗・肥料・農薬・農業資材 輸入販売代理店		
企業ホームページ	http://marlarmyaing.com/		
所在地	ヤンゴン		
設立年	1989年		
年間売上	150億ミャンマーチャット（約1,125万ドル） ※2018年2月時点レートで換算		
従業員数	223名	営業人員数	120名
ビジネス概要	<ul style="list-style-type: none"> ●輸入卸売 <ul style="list-style-type: none"> - 農薬、葉面散布剤、種苗など農業関連製品を輸入し、自社ブランド名にて販売。現状、農薬、葉面散布剤の取り扱いが特に多い。 ●小売 <ul style="list-style-type: none"> - ミャンマー国内の自社7店舗にて種苗、肥料、農薬、農業関連資材などを販売。 - 自社ブランド品の他、他社の輸入品も販売している。それらの他店への卸売も行っている。 ●肥料製造および卸売販売 		
主要取扱製品	<ul style="list-style-type: none"> ●肥料（マレーシア） ●農薬（日本、インド、中国、タイ、マレーシア） ●種苗（中国、タイ） ●噴霧器（シンガポール、中国） ●農業資材全般（インド、中国、マレーシア） 		
主要販路	<ul style="list-style-type: none"> ●ミャンマー全土の卸売業者（sub dealers）への販売（約450社） ●自社直営店でのエンドユーザーへの販売（7店舗） 		
商談を希望する商品	<ul style="list-style-type: none"> ●肥料全般 ●農業資材全般（噴霧器、園芸用品、灌漑用品・灌漑パイプ、スプリンクラー、ビニールハウス関連製品 等） ●種苗 ●先端技術を活用した農業関連製品・システムなど 		

企業名	Seeds Energy Agro Group Co., Ltd		
カテゴリ	種苗・肥料・農薬・農業資材 輸入販売代理店		
企業ホームページ	https://www.facebook.com/Seeds-Energy-Agro-Chemical-And-Vegetable-Seed-Products-328403714187382/		
所在地	ヤンゴン		
設立年	2007年		
年間売上	350万ドル		
従業員数	20名	営業人員数	12名
ビジネス概要	<ul style="list-style-type: none"> ●種子の輸入販売（輸入元：韓国、中国、オランダ、香港、インド、タイ） ●肥料、農薬の輸入販売（輸入元：タイ） ●マンゴーの契約栽培・自社栽培および輸出（輸出先：マレーシア、シンガポール、中国）自社栽培の割合は多くない ●スイカ、メロンの栽培および輸出（輸出先：マレーシア、香港） 		
主要取扱製品	<ul style="list-style-type: none"> ●Seed Energy Brand（自社ブランド）製品の販売： 各国から輸入した野菜の種苗、肥料、農薬を自社ブランドとして販売。 ●取り扱いの比率は種苗30%、肥料40%、農薬30%。 ●種苗の輸入元： <ul style="list-style-type: none"> Seminis Vegetable Seeds（米国）（2003-2014） Enza Zaden（オランダ）（2012- 現在） Jeun Seeds（韓国）（brassica crop アブラナ科野菜）（2012 -現在） Thai Sweet Farm（タイ）（スイートコーン）（2010 - 現在） Seed Asia Thailand（タイ）（飼料用トウモロコシ）（2007-2012） Global Crop（タイ）（飼料用トウモロコシ）（2012 -現在） Together seeds（メロン）（2012 -現在） その他、各種ブリーダーから種子を購入（2007 -現在） ●肥料の輸入元： <ul style="list-style-type: none"> Asia Fertilizer（タイ） ●農薬の輸入元： <ul style="list-style-type: none"> Global Crop（タイ） 		
主要販路	<ul style="list-style-type: none"> ●ミャンマー全土の種苗店（約200店舗）への販売 ●大規模農家への販売 ●コレクター（注：種や資材などを農家に提供し、生産物を買取る中間業者）への販売 		
商談を希望する商品	<ul style="list-style-type: none"> ●野菜の種子（特にキャベツ、カリフラワーなどのアブラナ科） ●農業資材全般（ビニールハウス関連や、ネットなど） ●小型の乾燥野菜製造装置（乾燥機、洗浄機（甘藷や玉ねぎ等用）、スライサー等） ●その他、農業関連製品全般に関心あり 		
特徴・バイヤーから一言	種子に関して、R&D センターなどを持ち、品種の開発・改良を行っている種苗メーカーとの取引を希望する。		

2018年3月「ミャンマー農業ビジネス」セミナー・個別商談会
バイヤー情報

企業名	Myanmar Belle Co., Ltd		
カテゴリ	現地で農作物生産・食品加工・販売・輸出を行う企業		
企業ホームページ	www.myanmar-belle.com ※2018年2月時点改修中		
所在地	本社 ヤンゴン		
設立年	1995年		
年間売上	2,500万ドル		
従業員数	1,250名	営業人員数	N/A
ビジネス概要	<ul style="list-style-type: none"> ●以下事業を含むフードサプライチェーンビジネスの展開 -農作物の契約委託栽培（野菜加工のための原料調達先として、契約農家4,000軒） -乾燥野菜、冷凍野菜の自社工場での加工・輸出（ミャンマー国内に2工場） -こんにゃくの生産・自社工場での加工・輸出（ミャンマー国内に1工場） -その他シーフードやシイタケの加工・輸出 -物流業（フォワーダー業務、倉庫業務、トラック輸送、レンタカーサービス） 		
主要取扱製品	乾燥野菜（ネギ、キャベツ）、冷凍野菜（ホウレンソウ、里芋、オクラ）を日本と韓国向けに輸出している。		
主要販路	<ul style="list-style-type: none"> ●日本や韓国の食品製造会社とパートナーシップを組み、それら企業の製品のミャンマーでの生産、日本や韓国への輸出を行っている。 ●これらの食品製造会社は、ラーメンやふりかけなど製造。 		
商談を希望する商品	<ul style="list-style-type: none"> ●野菜の種子（枝豆、ほうれん草、かぼちゃなど）の購入 ●収穫機械（大根、ネギ、ほうれん草、チンゲン菜、じゃがいも等）の購入 ●たい肥製造装置（村などに設置できる小さいサイズのもの）の購入 ●日本の食品製造会社との合弁： 日本企業と合弁し、ミャンマー・カヤー州の契約農家で生産した生姜やニンニク、唐辛子などを、ペースト、ピューレ、粉末状に加工し、日本、中国、インドなどへ輸出する他、ミャンマー国内でも販売したい。合弁相手先となる日本の企業（食品製造会社）を探している。 		
特徴・バイヤーから一言	●日本企業との豊富なビジネス経験があり、日本語でのコミュニケーション可。		